

秩父市議会だより

第4号

発行
秩父市議会
編集
市議会だより編集委員会
秩父市議会事務局
☎ (25) 5224
FAX (24) 2594
URL <http://www.city.chichibu.saitama.jp/>

3月 定例会

平成18年度 秩父市一般会計予算・・・原案可決

一般会計予算	279億5,844万3千円 (8.0%減)
特別会計予算	195億4,404万3千円 (4.0%減)
企業会計予算	58億7,286万円 (9.6%増)
合計	533億7,534万6千円 (8.7%減)



秩父市議会3月定例会は、2月27日(月)から3月15日(水)までの17日間を会期として開かれました。
議会初日、市長の施政方針が行われ平成18年度の一般会計、特別会計、企業会計予算等が提案されました。
市政全般に対する一般質問に16名の議員が登壇し、市政発展のため活発な議論が展開されました。
審議した議案は初日(27日)市長から提出された65件の議案と最終日(15日)に追加議案2件、議員から提出された議案2件、合計69件の議案を審議しました。
上程された議案は、原案可決、認定および同意されました。なお、議員提出議案の2件のうち影森郵便局の集配廃止計画への反対意見書は否決されました。

3月定例会 会期日程

2月

27日 開会

○会議録署名議員の指名

○会期の決定 ○諸報告

○施政方針

○市長提出議案の報告

○議案第1号から議案第65

号まで一括上程、説明

28日 休会(議案調査・一般質問ヒアリング)

3月

1日 休会(議案調査・一般質問ヒアリング)

2日 議案に対する質疑

3日 議案に対する質疑

○議案の委員会付託

4日 休会(土曜日)

5日 休会(日曜日)

6日 請願・陳情

○市政に対する一般質問

7日 市政に対する一般質問

8日 市政に対する一般質問

9日 委員会

10日 委員会

11日 休会(土曜日)

12日 休会(日曜日)

13日 委員会

14日 休会(事務整理)

15日 委員長報告

○委員長報告に対する質疑

○討論 ○採決 ○閉会

審査した議案の結果

3月定例会

議案番号	件名	結果	会派の態度					
			市民 夕	新 政 会	共 産 党	平 政 会	公 明 党	新 社 会
第1号	平成17年度西秩父衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○
第2号	平成17年度西秩父衛生組合特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○
第3号	市道の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第4号	市道の路線変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第5号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第6号	埼玉県市町村職員退職手当組合の規約変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第7号	彩の国さいたまづくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第8号	埼玉県市町村消防災害補償組合の規約変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第9号	指定管理者の指定について (秩父宮記念市民会館)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第10号	指定管理者の指定について (秩父市温水プール)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第11号	指定管理者の指定について (秩父市秩父デイサービスセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第12号	指定管理者の指定について (秩父市影森デイサービスセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第13号	指定管理者の指定について (秩父市高篠デイサービスセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第14号	指定管理者の指定について (秩父市中村デイサービスセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第15号	指定管理者の指定について (秩父市大滝デイサービスセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第16号	指定管理者の指定について (秩父市秩父勤労者福祉センター)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第17号	指定管理者の指定について (ちちぶ銘仙館)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第18号	指定管理者の指定について (中町駐車場)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第19号	指定管理者の指定について (秩父市文化体育センター)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第20号	指定管理者の指定について (秩父市立浦山歴史民俗資料館)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第21号	指定管理者の指定について (秩父市吉田龍勢会館、秩父市みどりの村関連施設、秩父市吉田元気村、秩父市吉田山逢の里及び秩父市城峯山ふれあいの森)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第22号	秩父市行政組織条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第23号	秩父市消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第24号	秩父市一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第25号	秩父市手数料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第26号	秩父市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第27号	秩父市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第28号	秩父市教育研究所条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第29号	秩父市立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第30号	秩父市高齢者ホームヘルプサービス事業の運営に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第31号	秩父市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第32号	秩父市デイサービス事業の実施に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第33号	秩父市大滝介護保険デイサービスセンター条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第34号	秩父市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第35号	秩父市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	×	○	○	×
第36号	秩父市いきがいセンター条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第37号	秩父市環境基本条例	原案可決	○	○	○	○	○	○

3月定例会

議案番号	件名	結果	会派の態度					
			市民ク	新政会	共産党	平政会	公明党	新社会
第38号	秩父市芸術文化会館条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第39号	秩父市国民保護対策本部及び秩父市緊急対処事態対策本部条例	原案可決	○	○	×	○	○	×
第40号	秩父市国民保護協議会条例	原案可決	○	○	×	○	○	×
第41号	秩父市産業廃棄物処理施設の設置等に係る紛争の予防及び調整に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第42号	秩父市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	×	○	○	×
第43号	秩父市移動通信用鉄塔施設整備事業分担金徴収条例を廃止する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第44号	秩父市特定施設維持管理基金条例を廃止する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第45号	平成17年度秩父市一般会計補正予算(第6回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第46号	平成17年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第47号	平成17年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第48号	平成17年度秩父市簡易水道事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第49号	平成17年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第4回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第50号	平成17年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第51号	平成17年度秩父市市営競輪特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第52号	平成17年度秩父市立病院事業会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第53号	平成18年度秩父市一般会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第54号	平成18年度秩父市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第55号	平成18年度秩父市老人保健特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第56号	平成18年度秩父市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第57号	平成18年度秩父市簡易水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第58号	平成18年度秩父市下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第59号	平成18年度秩父市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第60号	平成18年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第61号	平成18年度秩父市公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第62号	平成18年度秩父市駐車場事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第63号	平成18年度秩父市水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第64号	平成18年度秩父市立病院事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第65号	秩父広域市町村圏組合の共同処理事務の変更及び同組合の規約変更について	原案可決	○	○	×	○	○	○
第66号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○
第67号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○
議員提出 第16号	秩父市議政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
議員提出 第17号	影森郵便局の集配廃止計画への反対意見書	否決	×	×	○	×	×	○
市民ク (市民クラブ 34名) 新政会 (秩父新政会 10名) 共産党 (日本共産党 5名) 平政会 (平政会 4名) 公明党 (公明党 3名) 新社会 (新社会党秩父市議団 2名) ※議長は会派に属さない			○ 賛成 × 反対					

市民の声を市政に反映

一般質問

3月定例会における市政に対する一般質問は、3月6日、7日、8日の3日間で、市政全般について質問が行われました。

登壇した議員は16名で、質問・答弁の要旨は次のとおりです。

氏名	委員会別	発言の順
高野 勝盟	武藤 貞一	1
新井 康一	出浦 章恵	2
新井 喜男	上林 富夫	3
笠原 宏平	宮田 勝雄	4
坂本 文雄	金崎 昌之	5
富田 恵子	木村 操	6
今井 武藏	海老原捷夫	7
山中 進		8

総務関係

秩父の危機管理体制について (各総合支所を含む)

問 大災害発生を想定して自衛隊、消防、警察など、交えての訓練避難などのような形で実施しているか。

答 年一回くらい、大掛りな訓練の内容を変えて実施している、各総合支所ごとには実施していない。

問 非常食などは何人分を何日分どこに備蓄してあるのか。

答 人口の1割分、七千人分を三日分くらい避難場所などに備蓄している、中身は乾パンやクラッカーなど。

問 荒川、大滝、吉田及び浦山地区など、孤立した場所の食料補給や救急体制などはどのように考えているか。

答 今のところ体制は整っていない、これから考える。

自主防災、防犯組織

問 大地震や集中豪雨など突発的な災害が発生した場合、地域住民の団結と組織的な行動が重

要と考え自主防災組織の結成が必要と思われます。埼玉県内数箇所での結成状況は、秩父市での結成状況は。

答 阪神淡路地震では負傷した9割以上の人が家族、知人、近所の救助であったことが報告され、秩父市でも自主防災組織の必要性を十分認識しています。市内では、163の自治会すべてに結成する意思統一がなされ、現在の結成率は30組織、21.6%です。今後は結成して頂いた団体に対し補助事業として支援を考えている。

国立公園の課題と現状

問 (1)国立公園の価値観と活性化対策

①秩父、多摩、甲斐3県の連携強化

②サミット会議開催の検討

③三峰集団施設地区、(秩父湖)二瀬地区県管理等ご所見をお伺いする。

答 国立公園内の整備に努め活性化対策、事務レベルの交流による連携強化、同公園は環境、生態系など諸課題等考えられる、国県の意見を聞き対応、1都3県のサミット会議は検討して参りたい。

談合防止

問 入札制度改革の取り組みについて。

答 制度改革への取り組みの必要性を感じており、さまざまな工夫を行っている。今後も談合防止に向けた取り組みへの模索を続け検討を続けていく。

問 予定価格事前公表制度の見直しについて。

答 現在の方法が最良と言う訳ではないので、今後も検討していく。

問 指名競争入札制度の改善見直しについて。

答 指名業者数を多くする、業者が顔を合わせる機会を減らす等の措置を図っていく。

問 条件付き一般入札導入は。この方式を原則として行く。

合併後の荒川・大滝について

問 荒川・大滝の人たちが、合併してよかったと言われる施策について。

答 「旧町村が良くならなければ、市街地も良くなれない」との市長の考えのもと特に一人暮らし、高齢者に対し「ふれあいコール」社協では「壮年元気クラブ」事業を実施、安心助け合いのまちづくりに努力して行く。

税制改定について

問 18年度税制改定の影響は。

答 個人住民税所得割の定率減税見直しで控除率及び限度額の半減、高齢者控除の廃止等により個人住民税の影響額は均等割が約900万円、所得割が約1億4、100万円になり合計約1億5、000万円を見込んでいます。

消防団活動の現状について

問 消防力の基準と充足率は。

答 消防ポンプ自動車9台、はしご自動車1台、科学消防車2台、救助工作者1台、救急自動車9台でこれら車両の充足率はすべて100%。消防職員数は162人で充足率63%。消防団員数は定員1、231人に対する充足率は、92%である。



車両交替式

合併に伴う施策の後退について

問 合併を期に各種施策が後退し不便になったとの声がある。

答 後退したのもあるが、合併して良くなったものも多い。

市総合新興計画の取り組み

問 総合新興計画の基本方針、市財政の現状と行政改革、主要施策の年次計画と目標設定、観光振興、全域総括博物館、生涯学習センターの設置は如何か。

答 今後10年後の計画策定、合併時の協定履行、市民と市の協働で手作り、環境、景観等分野の基本構想と将来像等計画実践。

市職員の適正な人員配置を

問 時間外労働や年休の取得に、職場によって相当の差があると聞く。住民サービスの点からも適正な配置が求められる。

答 所属長の意見・要望を考慮するとともに、職員の適性にも配慮した人事異動で市民サービスが一層効率的で充実したものと努めている。

秩父市民連帯感醸成

問 市民交流促進策について。

答 合併記念事業等を通して市民交流に努めてきたが、今後も積極的に施策を展開して行く。

分譲促進に路線バスの拡充を

問 路線バス寺尾線は、現在午前・午後それぞれ一便しか運行されていない。これを複数便にすることで、子どもたちの登下校や市民生活の足としても利用できる、なかなか進まない蒔田分譲地の分譲促進につながる。

答 午前・午後複数便運行し、蒔田分譲地に住んでよかったと思えるバス路線を実現したい。

秩父を世界遺産登録の対応

問 秩父を世界遺産登録の取り組み。

答 秩父の自然、歴史、風土を生かす提起の八項目を検討対処。

建設関係

秩父第一中学校建設事業

問 仮校舎東高校の受入態勢。

答 女子高校のため男子便所の増設並びにグラウンドは、荒れたか所は、整備もすんでいる。

解体工事について。

問 近隣の住民に十分に配慮して進めたい。また、心配したアスベストは、いま判明しているか所には、使用していない。なお、内部の一部にあった場合には、慎重に除去する。

問 周辺道路の状況は。

答 東高校の周辺道路状況について、国道140号の横断か所等関係機関と協議する。

芝桜入場料創設

問 芝桜入場料創設について。

答 高齢者の医療負担増、年金の引き下げ等厳しい状況が続い

ているが福祉協力金と言うような名目で高齢者の人たちへの援助は出来ないのか。

答 現在入場料有料化に向け検討中である。

身近な子どもの遊び場

問 秩父市は、歩いて行ける安心して子どもを遊ばせられる小さな公園が少ない。造る考えは。

答 現在ポケットパークとして整備できる市有地の洗い出し作業を進めている。新年度では、市内全域にポケットパーク整備を積極的に進めていきたい。

道路網整備

問 大滝地域における県事業の整備は。

答 国道140号(強石〜二瀬間)狭隘部4か所の改良、歩道未整備区間、急傾斜地未対策地区3か所、治水砂防未整備(荒川、中津川)優先順位検討、管理者と要望か所を調査し、埼玉県に要望。

まちづくり

問 美しいまち、調和のとれた品格のあるまちづくりについて。

答 市民やNPOなど、ご意見

を伺いながら、景観計画等を策定し、美しいまちづくりに努める。

秩父斎場と大野原県道連絡工事

問 公設市場と秩父斎場の道路。道路施策の中で総合的に検討。

生活環境経済関係

交通問題について

問 高齢者等のために山間地の交通手段の確保と吉田から市内へのバス路線について。

答 デマンド交通システムの研究しており、早ければ18年度中に試行を始めた。

吉田からの直通バスは、他の路線も含めバス業者と協議中。

産廃処分場建設反対を

問 今定例会に「秩父市産業廃棄物処理施設の設置等に関する紛争の予防及び調査に関する条例」が提出され、秩父市は建設絶対反対の姿勢で今回の条例を提案したとの回答であるが、市民への早期計画開示・市民の意



路線バス



秩父みどりが丘工業団地

見集約・事業者への協議を進めても、今までの経過を踏まえる
と「住民投票」の取り組みを考
えては。

答 今回の条例で市民の建設反
対意見を盛り上げる運動が作れ
る。住民投票は調査研究したい。

観光振興とゴミゼロ推進策

問 観光施策と併行、ゴミゼロ
策の総合的取り組みは。

答 きれいな秩父の観光推進の
為、ゴミゼロの浸透する総合策
に取り組む。

企業誘致

問 秩父みどりが丘工業団地に
続く企業誘致について。

答 優良企業の誘致こそが秩父
の要であり強みに推進して行く。

ゴミ対策について

問 不法投棄防止のため休日の
受け入れ日を増やせないか。ま
た分別収集も増やすべきでは。

答 広域市町村圏組合に要望し
ていきたい。

バイオマスで「地域資源の 活用と地域振興」について

問 循環型社会を構築するうえ
で、地域資源を有効に活用しバ
イオマスによるエネルギーを利
用した取り組みは。

答 地域資源の有効利用と地域
の活性化に結びつく方策を進め
たい。

演習林軌道跡の利用

問 秩父演習林管理の軌道敷跡
入川、滝川2路線、大血川東谷
歩道は教育研究など森林資源の
貴重な地域、当事者と協議、一
般向けに開放し有効利用は。

答 本市の魅力を一層PRする
意味で軌道跡、遊歩道の有効活
用に向け当事者、県と協議を進
める。

カエデ街道

問 ルート140号カエデ街道
の推進について。

答 地主の方と協議をし、針葉
樹等伐採、カエデ街道の推進を
図る。

世界中のカエデ植栽

問 三峰地区へ世界中のカエデ
植栽について。

答 国立公園の中なので生態系
を考慮し関係機関と協議し検討
を重ねて行きたい。また冬の
名物となっている氷柱も三十
場、二瀬と更に活用を推進して
いきたい。

荒川上流再開発事業

問 荒川上流再開発事業の推進
について。

答 平成20年度を目途に事業の
方針を決定する。

国立公園と秩父地域活性化策

問 国立公園の秩父地域活性化
の五項目を提起その取り組みは。

答 秩父に国立ビジターセンタ
ー設置研究、エコツアーの取り
組み研究実践。

シカ害対策

問 メスジカを可猟獣とするこ
とについて。

答 可猟獣にするべく県に働き
かけていく。

文教福祉関係

結婚支援制度の充実を

問 少子・人口減対策としても、
結婚支援の充実が求められる。

答 男女の出会いの場としての
社会的な支援も必要。市として
も、秩父市社会福祉協議会で取
り組む「結婚相談」や「男女の
出会いのきっかけ作りの場」の
事業を今後も支援していく。

こども育成支援推進の取り組み

問 市民の働いている人でも長
時間労働や単身赴任等により、
家庭内で家族や親子のふれ合い
が少なく、このことが子どもを
産み育てる障害となっている。

政府は、このような状況を打
開するために「次世代育成支援
対策推進法」で企業に「仕事と
家庭を両立させるための環境整
備など」の計画を立案実施する

指導がされている。さらに県も
中小企業も取り組む要請がされ
ている。秩父市の取り組みは。

答 市職員の企業訪問を実施す
る中で、必要性と取り組みを要
請。

二期制導入白紙

問 白紙にした経緯、考えは。

答 児童生徒・保護者対象の
アンケート調査を実施した結
果、2学期制に消極的または否
定的回答が半数以上に達した。
現状では困難であると考え、白
紙に戻すことを決定した。第一
中も18年度から3学期制に戻す。
なお、秩父市の児童・生徒の
為に最もふさわしい教育改革に
ついて今後も引き継ぎ研究する。

小中学校のクラブ活動

問 小中学のクラブ活動は。

答 指導者の先生は、7年間の
期間で、配置変えの規則がある
ため、地域の指導者をお願いす
る方法もある。

問 通学区の自由化は。

答 通学区は、その地域を特定
するため、難しい。

問 小、中、高一貫教育の是非。

答 小、中の場合、年齢、体
格と問題があり、中、高の場合

義務教育との違いが、問題、費用が掛かる。



クラブ活動

二学期制白紙撤回に伴い

問 公立中学校の中には土曜日授業を実施している学校もあるが教育委員会の見解は。

答 学校法では週五日制と決められているため、国の方針にあわせ考えている。

介護保険について

問 介護保険料の軽減割合は。保険料第一段階で被保険者

以外の方は二分の一、保険料第二段階で特に保険料負担困難な方には三分の一を減額。現在の保険料段階の内第二段階については年金収入と合計所得額により新第二段階と新第三段階とに区分される。新保険料段階の減額割合は、現状の減額割合を下回らないことを前提に検討中。

食育について

問 食育を学校家庭地域で推進学校給食の食べ残しについて。

答 社会環境の変化に伴い子どもたちの食生活の乱れがみられ、朝食を抜く児童が12.5%給食の食べ残しは一日総量約19.4g、28.9キロ。国ではこのような現状に対し、栄養教諭制度を創設し、指導にあたる。

いきいきふれ愛ミーティング

問 秩父市の各地区で「いきいき秩父ふれ愛ミーティング」が開催されました。そこで出された意見や要望は今後どのような事に反映していくのか。

答 ご意見、ご要望は出来るものから速やかに実行していき、今後、策定予定の地域福祉計画に反映していきます。

子育て支援、児童手当について

問 児童手当の受給対象者が、小学校終了前まで拡大されます対象者数、経費について。

答 現在対象者数約5100人が約2100人増、支給金額約3億4000万が約1億5000万増額、負担率、国県市が1/3、市の負担額は約5000万円が見込まれる。

スクールバス送迎

問 小中学生の登下校の安全対策にスクールバス送迎の考えは。

答 現在、スクールバス利用のある学校の児童の通学は運行回数を増やし検討しているところ。路線バス利用が可能な学校は、登下校に合わせたバス運行をお願いし、検討しているところ。

障害者自立支援法について

問 長い間、国は措置費、また支援費制度として障害者に対応してきたが、この自立支援法について利用者の負担と事業者に對して、市の取り組みはどうなるのか。

答 市としては障害者の自立支援体制の充実に努めたい。

民間の保育所、学童施設について

問 働きながら子育てしている保護者、施設管理運営者に必要な予算を含め支援ができないか。

答 今後、調査・研究を重ね、保育の充実を図っていききたい。学童の補助は増額を検討。

子どもを守る対策

問 子どもの安全を守る為、情報の効果的な利用やスクールガード・リーダーの配置の考えは。

答 秩父第一小学校では、保護者へのメール配信を試行中。子どもの安全確保の取り組みを推進。

保育の充実にについて

問 保育所は子どもの命を預かる職場。フルタイムで働く保育士は正規採用にできないか。

答 財政的に難しい面がある。

市の仕事編成と健康づくり

問 仕事編成を企業、NPO連動と市民の健康づくりの推進方

答 市内の健康づくりは成果有り、市民の健康推進大作戦を全市へ。

母子家庭自立支援

問 母子家庭自立支援の現状は。

答 母子世帯数は、およそ600世帯。トライアル雇用事業の周知を図る等、就職支援に努める。

中学校の教員の配置について

問 教員の不足から免許外の教科を受け持つ教師はいないか。

答 秩父一中、二中を除く7校で8名いる。解消に向け努力したい。

子育て支援宣言

問 子育て支援宣言を行い、安心して子育てができるよう、市民に対してインパクトのある少子化対策を推進する考えは。

答 検討する。

音楽療法

問 音楽療法先進地として、まちづくりの柱に、音楽のもつ、癒しの効果を活用し、健康、長寿のまちづくりの考えは。

答 研究する。

の動き

3月定例会における常任委員会は、3月9日及び10日に行われました。

議案の付託先は、総務委員会に議案29件、建設委員会に議案11件、生活環境経済委員会に議案15件、文教福祉委員会に議案16件が付託され、それぞれ慎重審査されました。

なお、審査の内容については下記のとおりです。

総務委員会

- ◆工事請負契約の締結について
- ◆埼玉県市町村職員退職手当組合の規約変更について
- ◆彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について
- ◆埼玉県市町村消防災害補償組合の規約変更について
- ◆指定管理者の指定について
秩父宮記念市民会館・秩父市温水プール・秩父市秩父デイスーパーセンター・秩父市影森デイスーパーセンター・秩父市高篠デイスーパーセンター・秩父市中村デイスーパーセンター・秩父市大滝デイスーパーセンター・秩父市秩父勤労者福祉センター・ちちぶ銘仙館・中町駐車場・秩父市文化体育センター・秩父市立浦山歴史民俗資料館（秩父市吉田龍勢会館・秩父市みどりの村関連施設・秩父市吉田元気村・秩父市吉田山達の里および秩父市城峯山ふれあいの森）
- ◆秩父市行政組織条例の一部を改正する条例
- ◆秩父市消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆秩父市一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

◆秩父市手数料徴収条例の一部を改正する条例

◆秩父市移動通信用鉄塔施設整備事業分担金徴収条例を廃止する条例

◆秩父市特定施設維持管理基金条例を廃止する条例

◆平成17年度秩父市一般会計補正予算（第6回）（所管費目）

○以上議案24件は、原案のとおり可決

◆秩父市国民保護対策本部及び秩父市緊急対処事態対策本部条例

◆秩父市国民保護協議会条例

◆秩父市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◆平成18年度秩父市一般会計予算（所管費目）

◆秩父広域市町村圏組合の共同処理事務の変更及び同組合の規約変更について

○以上5件はいずれも挙手採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決。

建設委員会

◆市道の認定について

◆市道の路線変更について

◆秩父市営住宅条例の一部を改正する条例

◆平成17年度秩父市簡易水道事業特別会計補正予算（第2回）

◆平成17年度秩父市下水道事業特別会計補正予算（第4回）

◆平成18年度秩父市下水道事業特別会計予算

◆平成18年度秩父市駐車場事業特別会計予算

○原案のとおり可決。

◆平成17年度秩父市一般会計補正予算（第6回）（所管費目）

問 国道299号街路整備事業の進捗状況は。

答 平成17年度末現在で、用地総面積4520㎡に対し、取得面積1793・78㎡、用地取得率は39・69%である。

◆平成18年度秩父市一般会計予算（所管費目）

問 昨年4月の合併以来1年が経過、平成18年度予算の道路整備事業には、多数の事業が予算計上されているが、この予算を組むに当たり、主眼点は。また、合併効果は。

答 平成18年度は、計画から実現へ向け、事業に着手し、合併効果を発揮するには、幹線道路の整備に、国の促進しているパッケージ事業を活用し、西関東連絡道路、国道140号及び299号を中心に、これらと結ばれる幹線、地域道路網の構築

を主眼とし、また、新市まちづくり計画及び合併協定に基づき決定された道路整備の実施、町会等各地区から寄せられた陳情要望等についても主眼とし、安心・安全なまちづくり推進のための政策に重点をおき予算計上。

問 橋りょう整備事業の吉田幹線1号線 桜井橋の概要は。

答 全体延長320m、幅員7mの橋りょうで、用地買収、取付道路と橋りょうの設計業務委託、橋台1基、橋脚2基を実施し、18年度は橋台1基と上部工の工事を行い、平成19年度に取付道路工事を行い、供用開始となる。

問 建築確認申請等手数料207万2千円の内訳は。

答 建築確認申請件数164件分を計上した。その内訳は、100㎡を超えるものは1万4千円で120件分、100㎡以下のもは9千円で、40件分、工作物は8千円で4件分を見込んで計上。

○原案のとおり可決。

◆平成18年度秩父市簡易水道事業特別会計予算

問 老朽化した施設等の改修計画は。

答 旧秩父市では、平成15年に水道施設整備基本構想を策定し、15年間で順次整備する計画がで



各 常 任 委 員 会

きている。平成19年4月に大滝荒川簡易水道を水道事業に統合する予定であり、地域水道ビジョンを策定するよう厚生労働省からの指導もあり、統合後の全体的な計画をたて進めたい。

○原案のとおり可決。

◆平成18年度秩父市水道事業会計予算について

問 吉田管内に布設されている石綿管の総延長は。また、18年度に行う石綿管布設替え工事の延長予定は。

答 平成17年度末の総延長65・3kmの内28・9%に当たる18・9kmが石綿管である。また、18年度の石綿管布設替え工事は約1300mを予定している。
○原案のとおり可決。

生活環境経済委員会

◆平成17年度西秩父衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定について

◆平成17年度西秩父衛生組合特別会計歳入歳出決算の認定について

○以上2件、いずれも認定。

◆秩父市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

◆秩父市環境基本条例

◆平成17年度秩父市一般会計補

正予算(第6回)(所管費目)

◆平成17年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

◆平成17年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)

◆平成17年度秩父市市営競輪特別会計補正予算(第1回)

◆平成18年度秩父市農業集落排水事業特別会計予算

◆平成18年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算

◆平成18年度秩父市公設地方卸売市場特別会計予算

○以上9件、原案のとおり可決。

◆秩父市産業廃棄物処理施設の設置等に係る紛争の予防及び調整に関する条例

問 秩父市では絶対反対の方向、条例の趣旨は。

答 事業計画の段階で地域住民に情報公開を行うのが大きな目的。

◆平成18年度秩父市一般会計予算(所管費目)

問 有価物回収事業報償金について、支払いが遅くなった、見直せないか。

答 合併後件数の増加を予想し、年2回の申請・交付となった。要望が多ければ検討する。

◆平成18年度秩父市国民健康保険特別会計予算

問 合併後の税率の見直しは。

答 18年度も不均一課税を行うので、税率は今年度と同様となる。

◆平成18年度秩父市老人保健特別会計予算

問 支払基金交付金が大幅減額となった理由は受診抑制ではないか。

答 毎年公費負担割合が変わるため、受診抑制はない。

文教福祉委員会

◆秩父市教育研究所条例の一部を改正する条例

◆秩父市立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例

◆秩父市高齢者ホームヘルプサービス事業の運営に関する条例の一部を改正する条例

◆秩父市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例

◆秩父市デイサービス事業の実施に関する条例の一部を改正する条例

◆秩父市大滝介護保険デイサービスセンター条例の一部を改正する条例

◆秩父市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

◆秩父市いきがいセンター条例

◆秩父市芸術文化会館条例

◆平成17年度秩父市一般会計補正予算(第6回)(所管費目)

◆平成17年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第2回)

◆平成17年度秩父市立病院事業会計補正予算(第2回)

◆平成18年度秩父市立病院事業会計予算

○原案のとおり可決。

◆秩父市介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険料の改定は、所得格差が何倍あっても保険料の差は3倍しかない、所得の低い人や生活保護者の人が同じ保険料では矛盾した徴収の仕方であり反対である。

また、高齢者社会において、介護保険料は各自治体の負担、また住民の負担が大きく、制度を軽減するには段階数を増やすべきであり、国の施行令では、7段階の保険料区分が示されているが、6段階の改正については反対である。との意見もあった。

○採決の結果、賛成多数で原案を可決すべきものとして決定。

◆平成18年度秩父市一般会計予算(所管費目)

問 秩父市第一小学校校舎規模改造工事について洋式トイレの設置は。

答 耐震補強工事で洋式トイレの設置は予定していない。なお

未設置は大滝1校、荒川2校。
問 私立幼稚園就園奨励事業の補助内訳および在籍人数は。

答 国3分の1以内、市3分の2。在籍人数は1184人内979人に補助。

障害者自立支援法の関係で、国库補助金が減額になり、障害者の一割負担が保護者にとって大変であり、同法についても反対

危機管理・ダム対策 特別委員会

平成17年12月16日

〈第7回委員会〉

群馬県前橋市 利根川ダム統合管理事務所を視察した。

テレメーターを使用して、8つのダムの統合管理、運用について

1 情報の収集、監視、利根川の上流域の各種データを集める、広域的な現況を、リアルタイムで把握している。

テレメーター観測（河川水位、流量情報、雨量情報、積雪情報、ダム情報、利水施設情報などを毎時または、10分間隔で、データの送信を行っている。）

リーダー雨量観測（赤城山リーダー）気象情報などを行っている。

し、それに係わる歳入について反対。

○採決の結果、賛成多数で原案を可決すべきものとして決定。

◆平成18年度秩父市介護保険特別会計予算

介護保険の条例改正及び税制改正が影響し負担が多くなる。

○採決の結果、賛成多数で原案を可決すべきものとして決定。

2 気象状況を分析し、各ダムの操作方法を決める。

3 運用計画

各ダムの放流計画を立て、関係機関と連携を強化し、計画を立てる。

4 ダムの操作

下流域に雪どけや大雨による洪水のため、ダムから直接川に放流する時には、スピーカーやサイレンによる警報、パトロールカーで巡視を行っているから、放流等、説明を受けた。

平成18年1月18日

〈第8回委員会〉

「危機管理ダム特別委員会」報告書、提言について協議した。

平成18年2月1日

〈第9回委員会〉

「委員会報告書」について打ち合わせ、まとめ。

自治功労者表彰

去る3月1日に開催された埼玉町村議会議長会および全国町村議会議長会の定期総会において、各議長会の表彰規定に基づき自治功労者の表彰が行われ、当市議会において次の方が表彰を受けられました。

「埼玉、全国各議長会表彰」



笠原 重雄
議員



和久井一夫
議員



高野 幸雄
議員

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

人権擁護委員

今村恵美子（道生町）

請願・陳情

市民の皆さんから3月定例会に提出された請願はありませんでした。
また、陳情については1件提出されました。

陳情の内容

要 旨	陳 情 者
市道（尾田蒔）242号線道路拡幅整備工事施工方の件	田村町会 宮下 昭 外11名

議会 日誌

2月

1日 危機管理・ダム対策等別委員会

7日 青森県黒石市議会来秩

8日 福島県喜多方市議会来秩

9日 岐阜県土岐市議会来秩

20日 議会運営委員会

27日 定例会開会

3月

15日 議会運営委員会

25日 議会事務局等移転

30日 議会だより編集委員会

4月

4日 埼玉県桶川市議会来秩

14日 議会だより編集委員会

編集委員

委員長	今井 武藏
副委員長	小池 和雄
委員	新井 康一
"	富田 恵子
"	坂本 文雄
"	加藤 清一
"	金田 安生
"	加藤 仁男

特 報

市議会議員選挙の結果

当選者のプロフィール

市町村合併後の初めての市議会選挙が、去る4月23日に施行され30人の議員が決まりました。

議会だよりで、市民の代表として秩父市発展のために議員各位の活躍を期待し、当選された皆さんをここに紹介いたします。

(なお、掲載順は右から受付順です。敬称は略、政党名、当選回数、職業(選管届出内容)、年齢は5月1日現在です。)



無所属・3回
会社役員・49歳

小櫃 市郎



無所属・2回
無職・62歳

金田 安生



無所属・6回
会社員・67歳

井上十三男



無所属・1回
大学教授・65歳

新井重一郎



無所属・4回
会社員・66歳

笠原 重男



無所属・2回
会社役員・66歳

高野 安之



無所属・7回
自営業・68歳

若林 富雄



無所属・3回
会社役員・59歳

逸見 英昭



無所属・6回
会社役員・50歳

須田 博



無所属・6回
弁護士・59歳

新井兄三郎



無所属・1回
会社員・30歳

新井 豪



新社会党・2回
団体役員・54歳

金崎 昌之

無所属・5回
無職・64歳



宮田 勝雄

無所属・3回
飲食業・53歳



江田 治雄

日本共産党・1回
政党役員・64歳



齋藤 捷榮

無所属・2回
農林業・50歳



落合 芳樹

無所属・8回
市議会議員・71歳



今井 武藏

公明党・3回
政党役員・48歳



富田 恵子

無所属・5回
農業・64歳



内田 修司

無所属・1回
医師・51歳



久喜 邦康

無所属・2回
会社役員・50歳



笠原 宏平

無所属・4回
会社役員・73歳



高野 勝盟

無所属・4回
会社役員・51歳



浅海 忠

無所属・5回
農業・65歳



高野 幸雄

無所属・4回
行政書士・63歳



中村 義一

日本共産党・3回
団体役員・44歳

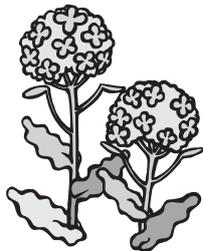


出浦 章恵

日本共産党・2回
政党役員・50歳



新井 康一



新社会党・6回
政党役員・61歳



坂本 文雄

公明党・1回
無職・51歳



福井 貴代

無所属・5回
農業・67歳



荒船 功